

BOXSCORE

発行日: 2016/11/26

【ボックススコア】

開催日: 2016/11/26

開始時間/終了時間: 11:40 TIP OFF / 13:09

会場: 武蔵野総合体育館

主審: 廣瀬 涉

副審: 村上 恵美

富士スバル

●
63

15 -1st- 21
7 -2nd- 15
9 -3rd- 17
32 -4th- 21

○
74

Queen Bee

富士スバル

No.	S	Player	PTS	3P FG			2P FG			FT		F	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A		M	A		M	A			OR	DR					
5	*	太斎 優里奈	10	0	2		2	7	6	8	3		1	6	7	4	1	1	0	39:36
6	*	原田 薫里	6	0	0		3	7	0	0	4		1	6	7	2	0	0	0	18:34
7		岩崎 睦																		DNP
8	*	高柳 美佐里	7	1	3		1	10	2	6	4		2	1	3	4	1	1	0	29:12
9	*	黒川 舞	6	0	6		1	8	4	4	2		2	2	4	5	1	1	0	40:00
10		江口 麻美	2	0	0		1	4	0	0	0		0	1	1	0	0	1	0	06:49
11		渡邊 真唯																		DNP
12		赤石 和子	0	0	0		0	0	0	0	1		0	1	1	0	0	0	0	03:34
13		柳 成子																		DNP
14	*	川浦 千尋	25	3	9		7	16	2	2	5		2	2	4	2	0	2	0	31:25
15		宇治川 愛																		DNP
17		荒巻 江美	7	0	0		3	15	1	2	4		2	6	8	1	0	1	0	30:50
TEAM SCORE			0				0	0			0		5	6	11	0				
合計			63	4	20		18	67	15	22	23		15	31	46	18	3	7	0	200:00
				20.0%		26.9%		68.2%												

Queen Bee

No.	S	Player	PTS	3P FG			2P FG			FT		F	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A		M	A		M	A			OR	DR					
3	*	浅羽 麻子	17	1	4		2	8	10	16	2		1	10	11	4	2	3	1	31:55
6		笹本 奈美																		DNP
9	*	浅木 千佳子	5	1	2		1	4	0	0	3		0	2	2	2	0	0	0	33:30
11		小山内 優香	6	0	1		3	4	0	0	4		1	3	4	0	0	0	0	27:45
13	*	榎本 みさき	14	0	2		7	16	0	0	1		1	2	3	1	5	1	0	33:25
22	*	服部 莉奈	12	0	1		5	15	2	5	3		0	2	2	0	1	0	0	38:04
37		荒木 華那																		DNP
44	*	佃 夏子	20	0	3		8	17	4	4	4		1	7	8	3	1	0	0	35:21
TEAM SCORE			0				0	0			0		3	13	16	1				
合計			74	2	13		26	64	16	25	17		7	39	46	13	8	5	1	200:00
				15.4%		40.6%		64.0%												

PTS: ポイント
3P: 3ポイントシュート
2P: 2ポイントシュート
FG: フィールドゴール

M: 成功
A: 試投
FT: フリースロー
F: ファウル

OR: オフェンスリバウンド
DR: ディフェンスリバウンド
TR: トータルリバウンド
TO: ターンオーバー

AS: アシスト
ST: スティール
BS: ブロックショット
MIN: 出場時間(分)

S: スターター
%: シュート率
OT: 延長

第1ピリオド、両チーム共に マンツーマンディフェンスでスタート。Queen Beeは#13榎本のゴール下を決めるが、富士スバルは#9黒川のミドルシュートですぐ返す。その後も富士スバルはゴール下、Queen Beeは3Pで攻めるが、13-10とQueen Beeのミスが続いたところでQueen Beeがタイムアウト。その後お互い攻め手を欠きしばらく膠着状態に陥るが、富士スバルのミスからQueen Beeが徐々に加点し、15-21Queen Beeリードで第1ピリオド終了。

第2ピリオド、富士スバルはQueen Beeのディフェンスを崩すことができず良い形でシュートを打つことができない。その後も単調な攻めが続く富士スバルに対し、Queen Beeはディフェンスからの速攻を仕掛け徐々に加点していく。富士スバル#9のパスミスからQueen Bee#13に2Pシュートを許し、差が10点に広がったところで残り5分44秒富士スバルがタイムアウトを取る。その後は両チーム膠着状態に陥り、富士が再び残り2分12秒でタイムアウトを取るも、その後も両チームシュートは入らず。終盤Queen Bee#3浅羽が富士のチームファウルによるフリースロー等で加点し、僅かに差を広げ22-36、Queen Beeリードで前半を終える。

第3ピリオド、富士スバルは#6原田が高さを活かした連続得点で主導権を握り、収縮したところで#8高柳が3Pを決める等その差を縮めるが、Queen Beeは#13がミドルシュートを含む3連続得点で着々と加点し再びその差を広げる。そしてQueen Bee#3、#13のドライブなどにより富士スバル#6がファールトラブルでベンチに戻ると、Queen Bee#9浅木の3Pや#22服部のミドルシュートやドライブなどで差を広げ31-53がQueen Beeリードで第3ピリオド終了。

第4ピリオド、富士スバル#14川浦が3P、バスケットカウントを含む連続得点で差を縮め、残り5分48秒、45-61としたところがQueen Beeがタイムアウトを取る。その後も富士スバルはディフェンスによるプレッシャーを強め、Queen Beeのターンオーバーを誘発するものの、Queen Beeは要所で富士スバルのディフェンスをコンビネーションで崩し、Queen Bee#22や#9などの得点でその差を再び戻す。終盤フルコートディフェンスで差を詰める富士スバルであったが、試合巧者であるQueen Beeが74-63で準決勝に駒を進めた。